授業科目名	発達と老化の理解Ⅰ		科目コード	１０２８	
開講クラス	介護福祉学科	コース	介護福祉士コース	学　年	１年
担当教員	廣澤三保子				
	実務経験教員（ 有 ・ 無 ） 実務経験内容 看護師として病院勤務				
開講時期	前期・後期・通年・特別講義・その他			授業コマ数	３０時間
	必　須 ・ 選　択 ・ 選択必須			単　位　数	１単位
使　用 テキスト１	書　名	最新・介護福祉士養成講座『発達と老化の理解』			
	著　者	秋山　昌江　他			
	出版社	中央法規出版			
使　用 テキスト２	書　名				
	著　者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	講義 ・ 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他（　　）				

＜授業の目的・目標＞
・発達の観点からの老化を理解し、老化に関する心理や身体機能の変化の特徴に関する基礎的知識を習得する。加齢に伴う障害や疾病についての留意点を理解する。
・高齢者に多い疾病について理解を深め、必要とされる介護は何かを考えることができる。
・保健・医療・福祉の専門職の一員として連携と協力の必要性が理解できる。

＜授業の概要・授業方針＞
・加齢に伴う障害や疾病について説明し、介護福祉士の視点で障害や疾病に応じた支援を考える。
・保険・医療・福祉の専門職の一員として連携と協力ができるようになる

＜成績基準・評価基準＞
・授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況（当該科目の年間出席時間数が履修すべき授業時間数の３分の２以上であること）から総合的に評価する。
・前期試験において
評価基準：１００点法で６０点以上の成績、その他総合的な評価を含め合否判定する。

＜使用問題集・注意事項＞
・介護福祉士国家試験過去問解説集
過去問において出題傾向を分析し、重要ポイントを再確認する。

＜授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他＞
・ボランティア、施設見学、（施設・在宅）介護実習

授業科目名	発達と老化の理解Ⅰ	
回	授　業　内　容	備　考
１	オリエンテーション／シラバスの説明	
２	老化に伴うこころとからだの変化/身体機能低下と日常生活への影響	
３	老化に伴うこころとからだの変化/身体機能低下と日常生活への影響	
４	高齢者に多い症状・疾患の特徴	
５	骨格系、筋系の機能の変化と生活への影響	
６	骨格系、筋系の機能の変化と生活への影響	
７	脳・神経系の機能の変化と生活への影響	
８	脳・神経系の機能の変化と生活への影響	
９	感覚器系の変化と生活への影響/目・耳・皮膚の病気	
１０	感覚器系の変化と生活への影響/目・耳・皮膚の病気	
１１	血液・循環器系の機能の変化と生活への影響	
１２	血液・循環器系の機能の変化と生活への影響	
１３	血液・循環器系の機能の変化と生活への影響	
１４	血液・循環器系の機能の変化と生活への影響	
１５	呼吸器系の機能の変化と生活への影響	
１６	呼吸器系の機能の変化と生活への影響	
１７	呼吸器系の機能の変化と生活への影響	
１８	呼吸器系の機能の変化と生活への影響	
１９	消化器系の機能の変化と生活への影響	
２０	消化器系の機能の変化と生活への影響	
２１	消化器系の機能の変化と生活への影響	
２２	消化器系の機能の変化と生活への影響	
２３	腎・泌尿器系の機能の変化と生活への影響	
２４	腎・泌尿器系の機能の変化と生活への影響	
２５	腎・泌尿器系の機能の変化と生活への影響	
２６	腎・泌尿器系の機能の変化と生活への影響	
２７	老化に伴う社会的な変化と生活への影響	
２８	老化に伴う社会的な変化と生活への影響	
２９	保健医療職との連携	
３０	保健医療職との連携	